

日本基督教団

東日本大震災救援対策本部ニュース

Vol. 04

2012年5月11日発行

169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 T/F 03-3205-6088 救援対策本部長 石橋秀雄



震災から1年 いま なすべきこと

東日本大震災から一年数ヶ月が経った今、私たちに求められているのは、被災地のことを覚え続け、祈り続け、物心両面で支え続けることです。教団の諸教会から献げられている「東日本大震災救援募金」(目標額10億円)は5月8日現在で3億5千万円に達しました。諸教会の真剣な祈りがそこに現れており、心から感謝します。この熱心な祈りと支援の働きを、ぜひ継続していきましょう。

■救援活動の2つの柱

教団の救援活動は、①教会の復興、②教会を通して地域への支援、の2つの柱から成っています。

① 教会の復興

1年経ってようやく教会の再建、復興が本格化してきました。被災した諸教会の計画が各教区を通して提出され始めています。前号ニュースで報告したように、10億円を超える資金が必要です。当初の募金計画で教会の復興のために当てられていた予算は、国内募金5億、海外募金2億の計7億円です。募金が予定通り全額献げられたとして、なお足りません。従って今のところ、再建資金の半額を支援し、後の半額については無利子での貸付を計画しています。教会の再建は教会の献金によってしかできません。それは建物の再建ということだけでなく、被災地において苦しみ悲しみの中にある人びとが、主イエス・キリストの福音によって神からの真実な慰めと力を与えられるための拠点の再建、復興です。そのための祈りと献金になおいっそう励みたいと思います。

② 教会を通して地域への支援

地域支援は海外の諸教会からの「人道支援」目的の献金によってなされています。教団が被災地域の人びとのコミュニティーにどう関わるかは、なかなか困難な課題で、試行錯誤を経てきました。被災教区の地域に根ざした働き、直接関わって下さっている方々の献身的な奉仕、被災した方たちの求めに応じてのボランティア活動、仮設住宅に入居しておられる方たちが気軽に集まる場の設定などの働きが地域に定着し、受け入れられ、信頼を得、喜ばれるようになってきました。また放射線量の高い地域の子どもと家族のための「短期保養プログラム」や、東北大学に臨床宗教師養成のための寄付講座を設けることなど、キリスト教諸団体や他教派、他宗教との協力のもとに進められているプロジェクトもあります。救援活動を通して教団の活動の幅が広がられています。今後も、被災教区と緊密に連携しつつ、地域支援の業を進めていきます。

■現代日本の危機とキリスト教

昨夏に行った緊急シンポジウムをまとめた『現代日本の危機とキリスト教』は初版が完売、増刷することとなりました。私たちは今まさに「現代日本の危機」に直面しています。その中で私たち日本基督教団が神からどのような問いかけを聞き、どう応えていくのか。救援活動にしっかりと取り組みつつ、そのことを共に考えていきたいと思っています。

日本基督教団
救援対策本部委員
藤掛順一

「東日本大震災救援対策本部ニュース第3号」の雲然俊美書記による巻頭言「被災教会の再建に向けて」の通り、未だに再建計画を立てられない教会や同じ場所に再建できるか、それとも移転せざるを得ないかという種々の問題があり、そのような痛みを共有しつつ、救援対策本部は支援について検討してまいりました。

検討の基本は、石橋秀雄議長が示した当初の募金の取り組み方針通り「礼拝共同体の支援として地域に仕えるということでは、まず礼拝の場を確保すること、すなわち教会を再建する。」ことでした。

この方針にもとづき、国内募金と海外募金を明確に区分し、海外からの募金は震災以降この1年、各種援助とボランティア活動の資金として用いてまいりました。

国内募金は大変感謝なことに5月8日現在、3億5千万円余捧げていただきましたので、その全額を教会堂および牧師館建築支援のために用いることにしております。本年6月から支援金として支出してまいります。

救援対策本部会議でそのための要綱を定めました。その骨子は、被災教会は具体的被災状況を各教区に申請していただき、各教区と再建計画について話し合い、祈りをもって教団救援対策本部に申請いただきます。救援対策本部は各教区から提出いただいた申請額を3カ月をめぐり確認し、申請額の半額を各教区毎に不均衡が生じないように十分配慮し、各教会への支援額として交付することとします。

当面は被災教会支援金交付を申請した金額の半額を支援しますが、各教区から強い要請がありました残額については、教団から貸付をします。

貸付につきましては、教団救援対策本部は資金貸付額の決定と諸般の助言を行うことにしており、この資金貸付は東日本大震災で被災した教会が、教会堂および牧師館を建築する場合に限り貸付けることとしています。

貸付限度額は、被災教会支援金交付を申請した金額の半額までとします。この資金の返済期限は、2年据え置き後20カ年以内としています。尚、その場合の利息につきましては無利子とします。

この資金の貸付けを希望される場合、被災教会は日本基督教団の定める様式にもとづき各教区に申請

し、教区が教団に申請することになります。

なお、各教区には、この貸付金の回収に努力していただき、返済が困難な場合は教区が責任をとることとしています。

この貸付金は、他の如何なる目的にも流用することを禁じ、そのような事実が判明した場合は教団から何らの通知催告を要せず、ただちに返済していただくこととしております。

尊い献金を用い被災教会と寄り添いながら支援してまいりたいと努力しております。

貸付でなく全額支援が可能になるように教会再建と地域復興を目指し、なお一層継続して献金（募金）にご協力いただき、安心して礼拝をささげられる場の確保が1日も早く達成できますように、祈りをあわせていただきますようお願い申し上げます。

被災教会支援金配分要綱

1. 支援対象
会堂および牧師館とする。
2. 支援方式
(1)支援金は支援希望額の50%を一応の目途とする。
※ 支援希望額は各教会と当該教区の検討を経た調整額とする。
(2)支援金は、各教区で定める優先順位により順次配分する。
3. 支援開始時期
支援金配分の時期については、教団における支援希望額の精査を終了次第開始する。
なお、第1期支援は2012年3月より実施する。
4. 貸出制度の創設
支援希望額の50%を上限とした貸出制度を設ける。
なお、規則は別途定める。
5. 支援金の交付
各教会は事業収支計画書、実施計画書を教区を経て教団に提出し、教団より決定通知書を交付する。
なお、書式は教団所定の書式による。

以上

海外献金

海外からもたくさんの方の献金をいただいております。感謝をもって報告します。

2011年3月～2012年2月

単位：円

献金者	金額		金額
アメリカ改革派教会	807,700	合同メソジスト教会救援対策委員会	7,254,200
台湾基督長老教会總會	782,100	ヘネッヒ総合学校	73,417
韓国教会希望奉仕団 代表会長 金森煥	1,000,000	在亜・キリスト福音公同教会	30,000
オーストラリア合同教会	388,850	南西ドイツ宣教会 (幼稚園、学校のため)	15,194,986
共同世界宣教局 (CGMB)	400,000	南西ドイツ宣教会 (被災地域教会のため)	15,194,987
アメリカ合衆国長老教会	400,000	南西ドイツ宣教会	50,000
疼惜台湾促進会	112,000	ジャーマン・ミッドナイトミッション元主	
タイ基督教会	22,218	事ドリス・オーレンシュレーガー師家庭集	19,764
ニュージーランド長老教会	287,300	会	
メイ福音主義教会牧師センター (リンゲン)	124,966	ヘニング・エデン (津波被害のため)	39,903
ミッション 21	882,067	岡田直丈 (ベルギー福音宣教会ブリュッセル	
タイ基督教会	264,219	日本語プロテスタント教会牧師)	200,000
南西ドイツ宣教会	5,088,450	台湾基督長老教会	25,374,316
長老会神学大学 (韓国)	471,638	ジャーマン・ミッドナイトミッション (75%	
クアラルンプール日本語キリスト者集会	322,245	東北ヘルプへ)	858,702
カナダ合同教会	838,121	ジャーマン・ミッドナイトミッション (5%	
台湾基督長老教会	827,268	仙台いのちの電話へ)	286,234
大韓イエス教長老会	37,520	クリスチャンパートナーズ	1,000,000
崇実大学社会科学部学生一同	49,120	ミッション 21 (10万スイスフランは親を	
ルツェルン改革派教会 (ドイツ)	60,163	失った子供たちの奨学金)	8,241,341
アジア連合神学大学校 (韓国)	92,726	ミッション 21 (5万スイスフランは福島の子	
英国メソジスト教会	4,491,682	供たちのための短期プログラムのため)	4,120,670
海外宣教研修センター (アメリカ)	203,275	ミッション 21 (2万スイスフランは遠野自	
リウ・ミン (中国)	18,762	殺防止センターのため)	1,648,265
リウ・ミン (中国)	10,019	ケルン・ボン日本語教会	275,865
アメリカ改革派教会	407,550	ベルリンミッション (仙台の孤児院のため)	679,809
台湾基督長老教会	34,169,940	オランダ日本語キリスト教会	204,485
セムナン教会 (韓国)	5,258,275	ポッペンビュッテル福音主義ルーテル教会	
ケルン・ボン日本語教会 (ドイツ)	292,819	バーバラ & ディーテル・メラ	33,820
大韓イエス教長老会總會	7,000,000	共同世界宣教局 (CGMB)	385,500
ベルリン宣教会	2,456,118	台福基督教会	8,122,550
クリスチャンパートナーズ	1,000,000	78件	209,681,305
ウェスレー合同メソジスト教会日本語部 (ア			
メリカ)	445,788		
ペタリン・ジャヤ・ゴスペルホール	1,121,766		
ベルギー福音宣教会	75,117		
アルゼンチン台湾教会	135,000		
ハーエ・ウント・グラン福音主義教会同盟	115,510		
ジョン・モス & はつみ・モス	278,110		
西之園路子	20,000		
ベテスタ奉仕女母の家 (ドイツ)	6,000,000		
アーバイン・カナン基督教会	233,292		
ロートヘニューフェルン教会	92,013		
ジャカルタ日本語キリスト教会	187,000		
アメリカ改革派教会	11,934,000		
ブリュッセル日本語プロテスタント教会	57,655		
英国メソジスト教会	10,450,752		
メイ福音主義教会牧師センター (リンゲン)	125,339		
ヘニング・エデン (ドイツ)	57,730		
福音主義宣教会 (ハンブルク)	2,882,000		
台湾基督長老教会總會	9,111,341		
マリಂಗメソジスト愛光園教会	250,000		
オランダ日本語キリスト教会	137,329		
台湾基督長老教会嘉義中会	3,974,006		
ケルン・ボン日本語教会	242,833		
カナダ合同教会	2,326,549		
ベルリン宣教会	1,572,250		

【4面会計報告*3の説明 単位：円】

12月まで	75,142,878	東日本大震災救援対策本部ニュー
		ス Vol.02 掲載
2012年2月18日	1,011,126	2012年1/13～1/15 第1回こひつ
		じキャンプ (於 山中湖) 費用支援
		宛先: 東京 YMCA
2012年3月7日	858,702	MBK (ドイツのミッション) から
		の指定献金「東北ヘルプ」に送金
2012年3月7日	286,234	MBK (ドイツのミッション) から
		の指定献金「仙台いのちの電話」に送金
2012年3月21日	871,000	健康診断 (人間ドック) 受診費お
		よび交通費補助
2012年3月26日	1,600,000	〈東北教区、奥羽教区、北海教区に
		よる親子短期プログラム〉2012年
		3月27日～4月2日 (6泊7日)
2012年3月26日	10,000,000	東北大学寄附講座支援金 (2012年
		度分支援金) 宛先: 財団法人東北
		ディアコニア (東北ヘルプ事務局)
2012年3月30日	10,000,000	社会福祉法人牧人会障害者施設「あ
		だたら育成園」改築整備事業補助
		第2回目
2012年3月30日	3,837,300	東北教区教会関係諸施設 入園保育
		料、保育料減免額支援 (東北教区送金)
計	103,607,240	

東日本大震災救援募金会計

総額 547,258,064 円

国内 336,817,359 円

海外 210,440,705 円

2012年3月31日現在

東日本大震災緊急救援募金・東日本大震災救援募金教区別集計表 (単位:円)

教区	件数合計	金額合計
北海	50	2,360,251
奥羽	53	1,901,027
東北	29	1,578,450
関東	309	20,538,416
東京	617	90,086,504
東京・東	103	11,947,677
東京・西南	173	42,173,023
東京・南	62	10,639,187
東京・北	115	12,469,213
東京・千葉	164	12,857,404
西東京	269	29,324,639
神奈川	246	26,369,883
東海	193	17,970,893
中部	263	40,118,286
京都	53	5,385,129
大阪	218	18,946,914
兵庫	62	8,250,442
東中国	47	2,774,238
西中国	103	5,250,874
四国	183	10,098,123
九州	181	11,406,927
沖縄	48	1,809,350
個人・他	481	42,647,013
総計	3,405	336,817,359

東日本大震災救援対策委員会会計、東日本大震災救援対策本部会計 中間収支計算書 (単位:円)

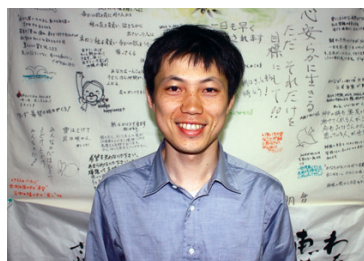
	救援対策委員会	救援対策本部	合計	
	2011年3月12日～6月30日	2011年7月1日～3月31日	2011年3月12日～3月31日	備考
【収入の部】				
繰入金	50,000,000	0	50,000,000	* 1
海外募金収入	99,838,453	110,602,252	210,440,705	
国内募金収入	94,418,359	242,399,000	336,817,359	* 2
当年度収入合計(A)	244,256,812	353,001,252	597,258,064	
前期繰越 収支差額	0	142,008,048		
収入合計(B)	244,256,812	495,009,300		
【支出の部】				
救援金	42,000,000	61,607,240	103,607,240	* 3
見舞金	1,880,000	60,000	1,940,000	* 4
委員会費	4,500	3,088,699	3,093,199	* 5
渉外費	878,061	39,592	917,653	* 6
人件費	650,000	15,470,193	16,120,193	* 7
事務費	3,907,538	16,480,107	20,387,645	* 8
活動費	1,415,443	1,708,001	3,123,444	* 9
車両費	1,513,222	2,447,006	3,960,228	* 10
建物費	0	13,241,982	13,241,982	* 11
救援対策基金戻入金	50,000,000	0	50,000,000	* 12
当年度支出合計(C)	102,248,764	114,142,820	216,391,584	* 13
当年度収支差額(A)-(C)	142,008,048	238,858,432	380,866,480	* 14
次期繰越収支差額(B)-(C)	142,008,048	380,866,480		

* 2011年3月15日～2012年3月31日

【収支計算書注説明】

- * 1 救援対策基金より繰入
- * 2 国内募金収入額は、会堂再建のための予算(7億円)に組み込まれます。
- * 3 3頁報告を参照のこと
- * 4 被災教会等への見舞金
- * 5 救援対策本部会議費、委員会費(東日本大震災シンポジウム開催費含む)
- * 6 他団体との交渉等の経費
- * 7 救援対策本部、エマオ仙台、エマオ石巻、ハートフル遠野のアルバイトを含む人件費
- * 8 幹事・職員・委員の被災地への出張旅費、通信運搬費等
- * 9 被災地での活動費
- * 10 車両購入費、維持費等、駐車場料金等
- * 11 石巻土地・建物購入費等含む
- * 12 救援対策基金へ戻し入れ
- * 13 実質支出合計額は救援対策基金戻入金5,000万円を引いた166,391,584円となります。
- * 14 次年度繰越金の内、国内募金収入額は会堂再建予算へ(*2参照)

◆はじめまして



この春から、救援対策本部担当幹事補佐として東北教区被災者支援センター・エマオへ派遣していただいた佐藤真史と申します。3月まで農村伝道神学校で学び、また西東京教区にある学生キリスト教友愛会(SCF)でスタッフの一人として関わらせていただきました。欠けの多い土の器ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

あの日から一年が経ちました。あの時、私は東京・東村山にあるレストランで母と遅い昼食を注文した所でした。大きな揺れの中、机の下に2人で潜りました。母は隣で何か唱え続けていました。耳を澄ますと、「絆奈さんと赤ちゃんをお守り下さい」と何度も言っているのです。臨月に入っていた私の連れ合いと子どものことを、何よりもまず祈ってくれていました。結果的に家族はみんな無事でしたが、忘れることの出来ない「あの日」です。

高田恵嗣前支援センター長から、支援センターに教団派遣専従者として招きを受けた時、非常に悩みました。教会の牧会者として働くものかと思ひ、かつ願っていたからです。連れ合いに相談した時、彼女が言いました。「あの日以来、私たちは被災された方たちに寄り添う働きが出来るようにと祈って来ました。それを神さまが聴いて下さり、私たちが招いて下さっていると思う」と。この言葉を聴いて、神さまがここに招いて下さっていることに気付かされました。

「祈り」と「寄り添う働き」を軸に歩いていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。■

【募金振込先】

振替番号 00110-6-639331 加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金